

さわやかだより

子どもの予防接種



お母さんが赤ちゃんにプレゼントした病気に対する抵抗力（免疫）は、百日せきでは生後3か月までに、麻疹（はしか）では生後12か月までにほとんど自然に失われていきます。そのため、この時期を過ぎると赤ちゃん自身で免疫をつくって病気を予防する必要があります。その助けとなるのが予防接種です。

子どもは発育とともに外出の機会や、他の人と接

触する機会が多くなり、感染症にかかる可能性も高くなります。予防接種は、その病気にかからないことやかかっても重くならないことを目的としています。衛生環境の向上や予防接種の普及により、日本国内ではほとんどみない病気でも予防接種により免疫を獲得しておくことが大切です。

予防接種について正しく理解したうえで接種を進めましょう。

生後2か月になったら 五種混合ワクチンの接種を受けましょう

！ 令和6年4月1日から、四種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ）に、インフルエンザ菌b型（ヒブ）を加えた五種混合ワクチンが開始しました

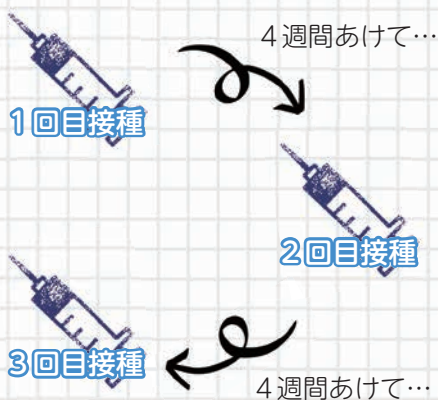
令和6年2月以降に生まれたお子さんから、五種混合ワクチンを接種することとなります。五種混合ワクチンで予防できる病気は、乳幼児がかかりやすく低年齢児で重症化する百日せきや、0～1歳で頻度の高いヒブ感染症などが含まれています。

！ 合計4回の接種を完了することが大切です

3回目までの接種は基礎となる免疫を得るために必要で、さらに3回目から6か月以上の間隔を開けて接種する4回目は“ブースター効果”といって、3回目までの接種よりも高い免疫（抗体価）を得ることを目的として接種します。

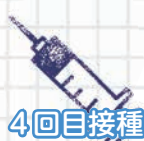
接種スケジュール間隔（例）

（1期）



（1期追加）

3回目接種から
6か月以上あけて...



問合せ 健康福祉課（☎ 76-4006）